

京都総評第85回臨時大会

日時 1月27日(土) 10時開会

場所 ラポール京都ホール

京都総評

京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第217号

発行所

京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階

京都地方労働組合総評議会(京都総評)

電話 075(801)2308 FAX 075(812)4149

E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/

<発行責任者> 梶川 憲 <編集責任者> 吉岡 勝

京都労働相談センター

電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

労働法制改悪阻止!

すべての労働者に大幅賃上げ・人間らしい働き方を!



18春闘がスタートしました。今年の春闘は、安倍政権の暴走政治が続く中で、労働者・国民との矛盾がたかたかた拡大し、安倍政権と国民との「せめぎ合っている」という情勢の下でたたかれます。

18春闘の目的と意義は、①すべての職場から「人間らしく暮らせる賃上げを」の大運動を展開すること、②対話と共同をひろげ、住民の福祉向上を第一義とする、憲法を生かす府政を実現すること、③「安倍9条改憲NO!全国統一署名」を成功させ、改憲NO!の世論を大きくつくること、④組織拡大運動を成功させ、3ヶ年計画を軌道に乗せることです。

単産・地域・職場から要求をかけた、18春闘をたかきましょう。

職場・地域で要求をかけた、大幅賃上げ実現を

職場では、長時間労働が蔓延して集まること自体が困難になっています。賃金の低下が長期にわたって続き、働きたした時から「低賃金が当たり前」という若い労働者がたくさんいます。そんな中、「このままでは将来の展望が見えない」といふ声も聞かれます。

声の低い職場でも広がっているのではないのでしょうか。今こそ、職場・地域でこうした声を集め、今日の経済情勢と賃上げについての学習を重視し、声をあげ、切実な要求を語り合います。すべての組合員の参加で要求討議を

「8時間働けば普通に暮らせる賃金とワークルール」の実現を

安倍内閣は通常国会に、「残業代ゼロ」「過労死ラ

「8時間働けば普通に暮らせる賃金とワークルール」の実現を

安倍内閣は通常国会に、「残業代ゼロ」「過労死ラ

伏見地域春闘共闘を発足

伏見地区労働局長が「伏見地域春闘共闘発足総会」を約40人の参加で行いました。

1月19日に京都農会館で、2018年旗開き・伏見地域春闘共闘発足総会を約40人の参加で行いました。

第一部は、春闘学習会「18春闘をめぐる情勢と課題(講師:京都総評・山縣事務局長)」で学習。香川地区労務局長が「伏見地域春闘共闘発足総会」の提案を行い、地域総行会への提案を行い、地域総行会や春闘交流集会、組織拡大などの18春闘の取り組みについて確認しました。

第二部は軽食を準備して、各単組の紹介と毎年恒例の〇×クイズで交流をしました。最後に京建労伏見支部からの団結カンパローで一年の奮闘を決議しました。

この危険な狙いをひるく知らせ、労働法制改悪を阻止しましょう。

職場から時給1000円未満の労働者をなくす取

「違法代ゼロ」で働かせ放題の合法化。月100時間未満、休日労働も含め1年960時間という過労死残業の合法化、「多様な就業形態の普及」を目的のひとつにした雇用対策改正で非雇用型労働の普及など、働くルールを根本から変えてしまおうとしています。

こうした危険な狙いをひるく知らせ、労働法制改悪を阻止しましょう。

職場から時給1000円未満の労働者をなくす取

地域の18春闘スタート

18春闘は「人間らしく暮らせる賃上げを」の世論を大きくつくり、職場・地域でたたかうことが大切です。地区労協では旗びらきや春闘学習会、定期大会などが行われ、18春闘、知事選挙、安倍9条改憲NO! 3000万署名など、地域からの運動を強めていこうと2018年の活動がスタートしています。今回は2つの地区労協を紹介します。

安倍9条改憲NO! 憲法を守り生かそう

安倍首相は年頭会見で、「憲法のあるべき姿をしっかりと国民に提示」するとい

今年度の国会に改憲案を提出し、国会発議の意思を示しました。平和憲法を守り、生かすたたかひの正念場の年です。

憲法9条の歯止めをなくして、海外で無制限に武力行使する、武器購入のために軍事費を増やす一方で福祉や教育予算はバツリ削減、こんな「戦争する国」への道はゴメンです。

いまだ取り組んでいる「安倍9条改憲NO! 憲法を守り生かそう」の署名活動は、1月27日(土)にラポール京都ホールで第85回臨時大会を開催します。

すべての単産・地域から臨時大会に参加し、職場・地域の実態、要求内容、たたかう方針などを討議・交流し、18春闘方針案を豊かにし、春闘方針を確立しましょう。

盛大に「旗びらき」

乙訓地労協

1月19日にバンビオで、2018年旗びらきを89人の参加で盛大に行いました。

ピアノ・バイオリン・ソプラノのアンサンブルでステキな演奏を楽しみました。全印総連プリントバック分会から、労働組合つづき・不当労働行為を許さないたたかひの決意、向陽幼稚園教職員組合から、労働条件改善やパワハラをなくすために地労協に加入して団体交渉でたたかっている報告があり、少数ながらも労働組合を立ち上げ、がんばっている姿に参加者も元気をもらいました。団結カンパローで春闘・知事選挙勝利へ決意を固めました。

本気で要求をとりこいでいるのか疑われる。こうなると組合員の信頼と存在感が薄れてくる。どうしたら要求がとれるのか。要求づくりで確信をもち高い交渉力を身につけ、みんなの団結を背景にすれば獲得できる。その通りである。しかしこれができているのか。闘争の闘いではなく、

倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名(全国で3000万筆、京都で60万筆目標)を職場と地域ですみずみに広げ、改憲発議ができないように「9条改憲許すな」「憲法を守ろう」の世論をつくるために奮闘しましょう。

『3000万署名』で改憲発議を止めよう! とすべての組合員に呼びかけましょう。

臨時大会を成功させ、18春闘方針の確立を

京都総評は、1月27日(土)にラポール京都ホールで第85回臨時大会を開催します。

すべての単産・地域から臨時大会に参加し、職場・地域の実態、要求内容、たたかう方針などを討議・交流し、18春闘方針案を豊かにし、春闘方針を確立しましょう。

労働組合とは、要求で一致し要求を解決する組織である。しかし要求を出しても実現することはない。

TUBUYAKI



知事選勝利へ！決意固めた新春のつどい

京都府知事選挙に向け

「要求と提言」を发表

3月22日告示、4月8日投・開票で京都府知事選挙が行われます。京都府知事選挙に向け、京都総評の「要求と提言」を発表しました。

「要求と提言」は、京都府政の現状と課題として産業構造の変化、非正規雇用の増大など、京都府政の特徴を明らかにし、京都府政の問題点を浮き彫りにしました。そして府政転換への共感と合意の広がり、府政転換への基本方向を示しました。具体的な提案として地域経済再生のための施策、労働者が安心して働き続けられるための施策を提言しています。

「要求と提言」をもとに具体的な政策・要求を練り上げるとともに、それぞれの分野・地域で具体的な要求づくりをすすめ、要求を土台に知事選挙をたたかことが重要です。

産業構造の変化と非正規雇用の増大

ものづくり産業が激減する一方、医療・介護を含むサービス業が大幅に増加するなど産業構造が大きく変化し、非正規雇用率は拡大し続けて全国ワースト3位になっているなど府政の現状を指摘。京都府政の問題点として、京都府の雇用・就労対策が、地方自治体が本来果たすべき役割から逸脱し、安倍「働き方改革」の旗振り役になっていること。自治体業務のアウトソ

フトコロをあたため、地域も元気に

安心して働き続けられる政策では、奨学金返済支援制度の充実や家賃補助制度の創設など、学生・若者が京都で働き、定着する施策、給与改善補助制度の創設など介護・福祉施設職員の待遇改善などを提言しています。

2月12日に「京都の底上げを！シンポジウム」が行われます。京都大学の岡田知弘教授の講演とパネルディスカッションです。ここで京都総評は「要求と提言」をもとに提案します。ぜひご参加ください。

京都の底上げを！シンポジウム

日時 2月12日(月) 13時30分開会
会場 京都アスニー第8研修室
内容 岡田知弘教授(京都大学)の講演とパネルディスカッション
主催 実行委員会(エキタス京都・京都総評・自由法曹団京都支部)

ーシングなど大企業のための「稼働場」づくりを促進する姿勢を指摘しています。

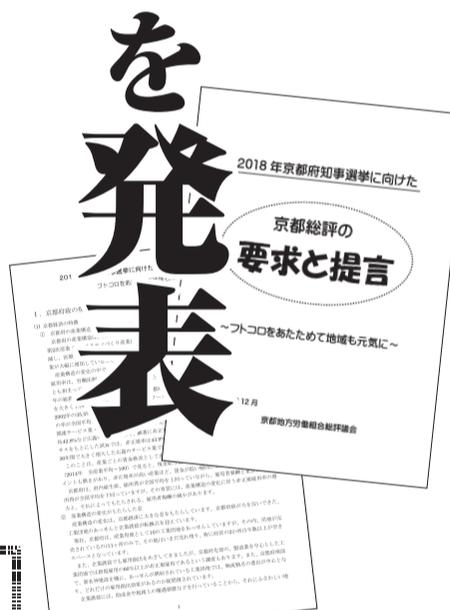
府政転換の基本方向として、①中小零細企業が京都経済の主役であることを明確にし、京都府の経済政策を転換、②市町村が行う住民福祉の向上や地域経済再生への努力を支援する広域行政の役割発揮、③振興局体制を見直し、地域と産業現場で経済活動の再生を図る、④働く者のフトコロをあたためるために地方自治

識者からの声

「要求と提言」は、中小企業・小規模企業が一緒に取り組めるもの

京都大学教授 岡田 知弘さん (地域経済学)

世界で最もグローバル企業が活動しやすい国にすることを目的とした経済政策の結果、いたるところで地域の経済や社会が破壊され、格差と貧困が拡大しています。京都の地域経済を分析し、京都らしい地域再生の方向を京都総評が提言しました。それは京都経済を担う中小企業・小規模企業が一緒に取り組める内容であり、その具体化が待たれます。



くりすますぱーてー2017

12月16日に「くりすますぱーてー2017」をすばーてー2017を開催。組合員77人の参加で開催。組合員に興味はあるけれど一歩踏み出せない...という方のために非組合員の方も参加可能になりました。どのような職種が集まっている組織なのか、各組織での青年部活動などの紹介コーナーでお互いの紹介コーナーでお互いの「借り人競争」のゲームで楽しみました。「また参加したい」「他の職種の方と話す機会がないのでよかった」と好評でした。

総評青年部

京都高齢者退職者協議会主催の「第9回高齢者怒りの行動」が四條河原町マルイ前で行われました。毎月第1金曜日に行動したくさんの高齢者が参加してくれます。安倍9条改憲NO！3000万署名やみんなのいのちをまもる署名への協力を訴え、寒い中、高齢者が応えてくれました。

関電大飯原発3・4号機が再稼働されようしている状況の下、京都府知事に再稼働反対の表明を求める街頭演説・府庁包囲デモが行われました。滋賀県知事はすでに「再稼働は容認できない」と表明しており、福井県以外の30キロ圏内の知事が足並みそろえて「待った」をかけるべきです。

1月5日 高齢者怒りの行動

12月19日 大飯原発動かすな！街頭演説・デモ

1月19日 京都市予算要請

1月19日 戦争法廃止！街頭演説・デモ

いのちと暮らし、雇用と営業、安全・安心の保障を第一にした市政推進を求め、公契約基本条例への賃金下限の設定、福祉・介護などの労働者の待遇改善の独自施策の実施、奨学金返済の独自の直接支援策実施などを求めて予算要請を実施。京都府に対しては12月25日に予算要請を行いました。

毎月19日に行われている行動です。1月19日には350人が参加、寒さに負けず、「戦争法は今すぐ廃止を」「憲法守れ」の声を響かせました。12月19日の行動はきびしい寒さの中、400人が参加。聖護院門跡門主の宮城泰年さんの「平和を願って9条を守ろう」の訴えに大きな拍手が寄せられました。

第27回定期大会を開催

総評女性部



12月17日、28人の参加で大会を開催。「働き方改革」について学習しました。

討論では「仕事が增え人員が減る中、『帰れ』と時短ハラが起きている」「アンケートで67%が『仕事を辞めたい』と回答」「育児のための部分休務を小学校3年生まで延長した」「女性部で6・9行動を続け、1222回に『職場がとにかく寒い』など、各職場のリアルな実態が暴露され、「交流を大事にしよう」と話されました。